SDGs新聞	日新火災海上保険株式会社
保険会社がつくる、いい未来！	

SDGsラジオを読んでみよう！

「未来のためにできること」と聞いて、どんなことを思い浮かべますか？
地球には今、災害や環境の問題など、みんなで取り組まなければいけないことがたくさんあります。
保険会社の「日新火災海上保険」でも、未来のためにさまざまな取り組みを行っています。
そのひとつが、どんぐりを育てる活動です。全国の社員さんが会社でどんぐりの苗を育て、育った苗は山に植えられます。
木の根は土をしっかり支えてくれるので、災害に強い山づくりにつながります。
また、日新火災では、ヘルメットのリサイクルにも取り組んでいます。
ヘルメットは、3年から5年で守る力が弱くなると言われていて、
役目を終えたヘルメットを集めて、新しい資源に生まれ変わらせているんです。
みんなの安全を守ったヘルメットが、次は環境を守るために役立てられるんですよ。
みなさんにも、未来のためにできることがあります。自分にはどんなことができるか、ぜひ考えてみてくださいね。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

地球には今、環境や災害の問題など、みんなで取り組まなければいけないことがたくさんあります。
自然環境や社会、経済などを大切にしながら、今のくらしを未来まで続けられるようにする考え方を「サステナビリティ」といいます。保険会社の「日新火災海上保険」も、損害保険を通して人々に安心を届けながら、さまざまなサステナビリティの取り組みをしています。たとえば、全国の社員さんが会社で、どんぐりの苗木を育てています。約2年間育てられた苗木は山に植えられ、これまでに約90本の苗木が育ちました。この活動は緑を増やすだけでなく、木の根が山の土をしっかり支えてくれるため、土砂災害などのキケンが少ない山づくりにもつながります。
画像参照：会社で育てられているどんぐりの苗木（日新火災ディスクロージャー誌より）

画像参照：
日新火災のヘルメットリサイクルプログラム
（日新火災ディスクロージャー誌より）

日新火災ではほかにも、役目を終えたヘルメットを集め、リサイクルする活動もしています。ヘルメットは長く使うと頭を守る力が弱くなるため、3年から5年を目安に取りかえる必要があります。古くなったヘルメットの交換をうながすことで人々の安全を守り、新しい資源に生まれ変わらせることで、資源をむだにせずゴミを減らすことにつなげています。未来を生きる子どもたちへの授業も、サステナビリティの取り組みのひとつです。中学生や高校生に向けて、交通安全や損害保険の仕事などについて教えています。さらに、日新火災の社員さんたちは、一人ひとりのちがいを大切にし、だれもが活やくできる社会をつくるために、障がい者スポーツの試合を見に行ったり、選手や競技を支えたりする活動もしています。このような取り組みの一つひとつが、みんなが安心して幸せにくらせる未来を支えています。

画像参照：日新火災のさまざまなサステナビリティの取り組み紹介ページ
（「日新火災サステナビリティの取り組み」サイトより）

キーワード

サステナビリティ

自然環境や資源を大切にし、社会のしくみをよりよくしながら、未来まで続けられるようにする考え方です。日本語では「持続可能性」といいます。

リサイクル

使い終わったものをもう一度使える材料にして、新しいものに生まれ変わらせることです。資源をむだにせず、ゴミを減らすことにつながります。

障がい者スポーツ

障がいのある人も楽しめるように、ルールや道具を工夫したり、新しくつくられたりしたスポーツです。

対象ゴール

みなさんにできること！

未来のためにどんなことができるか？話し合ってみましょう。

おさらい

- 地球には災害や環境の問題など、みんなで取り組まなければいけないことがたくさんある。
- サステナビリティとは、自然環境や社会、経済などを大切にしながら、今のくらしを未来まで続けられるようにする考え方。
- 「日新火災海上保険」では、さまざまなサステナビリティの取り組みをしている。

メモ

SDGs ラジオ